

ルクセンブルク大公国 政治・社会情勢（2016年8月）

1 内政

- 5日 ケルシュ内務大臣が国家と宗教の分離の観点から設立される教会財産維持管理基金に関する法案のドラフトをメディアに紹介。同大臣はこの法案が2017年1月から施行されると楽観的に見ているものの、教会側としては自分たちの希望で設立するものではないため抵抗を続けている。

2 外交・EU

- 5日 アセルボーン外相が、リヒテンシュタインで行われたドイツ語圏国（ドイツ、スイス、オーストリア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク）の外相会談に出席。英国のEU脱退、欧州安全保障、移民及び中東・トルコ・ウクライナに関して協議。また、国連及び欧州安全保障協力機構（OSCE）におけるこの五カ国の協力強化を図った。

- 23日 ベッテル首相が、パリへ公式訪問しオランダ大統領と二国間関係、欧州政治及び9月16日にスロバキアのブラティスラバで行われる予定のEUの将来に関する非公式首脳会合の準備について会談を行った。

- 25日 アセルボーン外相が、オランダ大統領の招待を受け、25～26日にパリで行われる社会民主党リーダーの非公式会合に出席。9月16日にブラティスラバで開催される欧州の将来に関わる27カ国会合の見通しを立てる予定。主な議題は、治安、テロ対策、投資、雇用、機会均等やBrexitを踏まえたに係るEUの今後の役割。

- 25～26日 ドイツ語圏の保健大臣の会合がルクセンブルクにて開催され、ムッチュ保健大臣が出席して保健政策に関して各国と協議を行った。主な議題は生活習慣病として若者のタバコやお酒の消費等を削減する改善策、eHealthという保健データの取り扱いに関して患者や保健専門家の信頼を得られるよう国境を越えて機微なデータを保護する対策の検討など。

- 29日 スロベニアのセラー（Mr. Miro CERAR）首相がベッテル首相と、9月16日に行われるブラティスラバでの今後のEUに関する非公式首脳会議の準備に関して会談を行った。

3 社会・大公宮

- 2日 7月21～22日に当国にて起こった洪水被害に対し、26日に閣議において政府が3千万ユーロの資金補助を支出する決定を下したことを受けて、経済省は被害を受けた企業に支援をする旨呼びかけた。

- 5日 国際オリンピック委員会（IOC）委員長のアンリ大公殿下及びシュナイダー・スポーツ大臣がブラジルのリオでオリンピック開会式に出席。